

評価細目の第三者評価結果

（保育所、地域型保育事業）

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果	コメント
I-1-1 (1) 理念、基本方針が確立・周知されている。			
1	I-1-1 (1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・基本理念や方針は事業計画ホームページ・運営規定・重要事項説明書に明文化し、わかりやすく伝えようと努めている。 ・保護者へは園長が園見学時と入園説明会時に伝え重要事項説明書のファイルを玄関入り口にいつでも確認できるように設置している。 ・職員へは入社時に伝え、常に確認できるように保育室に掲示している。

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果	コメント
I-2-1 (1) 経営環境の変化等に適切に対応している。			
2	I-2-1 (1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・園を取り巻く状況や動向は弁護士・税理士と園で把握・分析している。 ・さらに市の講習会や通知から情報を入手し、把握している。
3	I-2-1 (1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・開園1年目から具体的な施設整備計画を立て改善に努めている。 具体的には <ul style="list-style-type: none"> ①職場の課題として職員が子どもから離れて休憩が取れる場の確保のため、専用の休憩室を整備。 ②保育室の遊びスペースをさらに広くするため物置を屋外に設置。 ③子どもたちがもっと自由に過ごせるようにテラスの設置を来年度計画している。

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果	コメント
I-3-1 (1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。			
4	I-3-1 (1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・「理念」「基本方針」「保育目標」「地域の実態」「収支計画」を元に具体的な「職員計画」「安全対策」「保育内容」「施設整備」について記載した事業計画を策定している。
5	I-3-1 (1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b	<ul style="list-style-type: none"> ・中長期計画を達成するために単年度計画は決め細かく具体的に策定することを期待します。 ・一時保育事業の計画があり受け入れ体制を整えている。保育定員に空きがある場合のみ利用可能となっている。
I-3-1 (2) 事業計画が適切に策定されている。			
6	I-3-1 (2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b	<ul style="list-style-type: none"> ・新設の園のため園長が策定している。 ・職員の理解度にバラツキが見られるため今後はなるべく早い段階で理解できるように期待します。
7	I-3-1 (2)-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・入園時説明会時に説明を行っている。 ・また今年度の福祉サービス第三者評価受審については園長が保護者一人ひとりに主旨を伝え、協力して頂けるよう努めていた。

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果	コメント
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。			
8	I-4-(1)-① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・開園1年目から「福祉サービス第三者評価」を受審し、園や保育の向上に積極的に努めている。 ・新設園のため年度途中で自己評価を実施し、組織的に確認をしている。 ・職員は全ての子どもに対して毎日の成長や変化を共有している。 また「月1回の職員会議」「週1回の担任会議」を行い、園全体でPDCAサイクルを繰返し、質の向上へ向け園全体で取組んでいる。
9	I-4-(1)-② 評価結果に基づき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・園は様々な評価結果から「環境整備」を課題抽出し整備を行っている。 ①職員がリフレッシュするための休憩室を設置。 ②保育室をより広く遊べるよう、おもちゃや備品用の物置を屋外に設置。 ③来年度はテラスの設置予定。 ・職員は一人ひとりにあった保育を行うため毎日、午睡の時間にその日の保育内容の振り返り・改善事項抽出を行い、翌日の保育内容の計画の見直しを行っている。 課題によって、その日の午後の保育に反映するなど迅速なPDCAが行われている。

II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果	コメント
II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。			
10	II-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・園長は最終責任者として責任の所在を明確に伝え、運営規定に明示し、理解を得られるよう努めている。
11	II-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・園長は法人代表として自ら諸規定・マニュアルを整備している。 ・行政・弁護士・税理士・社労士から最新の情報を入手し、園の運営を行っている。
II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。			
12	II-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・園長は1つでも多く理想・目標に近づけるためには職員共通理解を図ることが重要と考え理念・方針・大切にしたい事を伝え続けている。 ・園長は小規模保育園の良さを活かしている。 その上で異年齢保育や大きな集団のメリットを加えるため自ら積極的にプランをたて、連携施設と合同保育を行い、子ども達に体験する機会を与えている。
13	II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを導入し、業務の効率化を図っている。 ・園長は職員の相談・面談を随時行う他、希望に応じて外部専門家に相談できるよう体制を整えている。 ・園長は朝の送りや日常的に話し合いに参加し、情報共有とPDCAの実施ができる様に助言している。 ・園は職員が円滑なコミュニケーションが図れるよう職務場面ごとの「職員心得」を策定している。

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果	コメント
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。			
14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b	<ul style="list-style-type: none"> ・中長期計画で職員に対する計画を明示している。 ・人材確保はハローワーク・ホームページ・民間人材紹介事業所へ依頼し、随時募集を行っている。 ・日々の運営の中で起こる不明点は弁護士・労務士に確認を行い明確にした上で職員へ説明している。 ・今後は職員定着のための計画を見直し・策定することを期待します。
15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	b	<ul style="list-style-type: none"> ・園長は自己評価を元に職員面談で意向を把握し、個々の目標管理を支援している。 ・園長は職員の意欲向上のため、「改善提案賞」「改善実施賞」「開発功績賞」「改善功績賞」「善行賞」など功績を称える仕組みがある。 ・一年を通してさらにトータルマネージメントに注がれることを期待します。
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。			
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・園長は職員会議や日頃の会話から職員の意向を聞き働き方の提案をしている。 ・園は職員が子どもと離れ休息し切り替えて午後からも余裕を持った保育に当たれるよう休憩室を設置した。
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上へ向けた体制が確立されている。			
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人一人の育成に向けた取組を行っている。	b	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は自己評価で自身の保育や職員としての行動を振り返り、「集団の中での目標」「自身の目標」について何を・どのように行うかを具体的に目標を設定している。 ・園長は自己評価を元に面談を行いアドバイスをしている。 ・さらに進捗状況のチェックなど十分に確認し、育成に取り組むことを期待します。
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b	<ul style="list-style-type: none"> ・目的を明示し、年間研修計画を策定している。 ・市・県主催の研修の他、園内研修・連携園の見学や保育体験を計画している。 ・園内研修は意見交換会や事例に基づくディスカッションも実施し、他の職員の視点・意見から学べるようにしている。 また職員が正しい知識と確実性を兼ね備えられるように外部講師による感染症研修や救命救急講習・AED研修を年2回実施している。 ・コロナ禍の中、研修参加には職員のバラツキが見られた。 今後は十分に研修機会の確保をする事を期待します。
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人一人の教育・研修の機会が確保されている。	b	<ul style="list-style-type: none"> ・新設園・コロナ禍等々、状況的に厳しいものであったが、十分に研修の機会をつくり職員の研鑽に期待したい。
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。			
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・実習生マニュアルを策定し、受入れを関係機関に表明している。

II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果	コメント
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。			
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・理念・方針・保育目標・保育活動内容をホームページで公開している。 ・園入り口に重要事項説明書・各種マニュアルを設置し、保護者が確認できるようにしている。
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・経理規程を整備し、適正な運営に取り組んでいる。 ・適正な運営を行うため毎月、弁護士・税理士・社労士等に確認を受けている。 ・今後、保護者に運営内容をより理解していただけるよう運営委員会を開催する意向がある。

II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果	コメント
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。			
23	II-4-(1)-① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・所有しているAEDを地域住民が必要に応じて活用してもらえるよう道路から見える位置に案内表示をしている。 ・子ども達が地域イベントに参加しやすくするために職員は保護者へ近隣イベントの案内を行っている。 ・コロナ終息後は、地域の高齢者施設との交流などを検討している。
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルを整備し、行政へボランティア受け入れ登録を行っているが、今年度希望者はいない。
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。			
25	II-4-(2)-① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が確実に確認や連絡が取りやすいよう担当行政・警察・地域交番・地域消防署・連携園など関係機関のリストを作成し、事務所に掲示している。 ・子どもの安全な環境整備のため「地域消防署に防災の話をしてもらおう」「警察署に巡回を依頼する」「行政幼児政策課に緊急時の対応・相談・助言を受ける」等連携を図っている。 ・また、連携園と定期的に連絡をとり保育内容に反映している。
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。			
26	II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・園長は行政の講習会を通じて情報収集・地域のニーズ把握に努めている。 ・園長は園見学時の保護者との会話から具体的なニーズの把握を行っている。
27	II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等に基づく公益的な事業・活動が行われている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・園見学を随時行い育児相談や育児情報の提供を行っている。 ・園は地域の子育て世代が安心して子育てができるよう駅近くの立地を活かし一時保育事業を実施している。

III 適切な福祉サービスの実施

III-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果	コメント
III-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。			
28	III-1-(1)-① 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間のズレが生じないよう毎日朝の送り・午睡時の話し合い・週1回の担任会議・月1回の職員会議等で共通理解に努めている。 ・職員は職種に関わらず毎日話し合いを行い、子どもに合った援助方法を活発に意見交換している。

29	a	<p>・利用者のプライバシー保護に関する規定を整備している。 保護者へは入園説明会時に個人情報と合わせて説明を行い、職員は入職時に誓約している。 ・子どもの着替え・排泄の場面が担当職員以外の視界にはいらないようロールスクリーンを設置し、プライバシー保護に努めている。 また掲示や便りはフルネーム記載せず名前だけの表示に徹底している。</p>
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。		
30	a	<p>・園長は入園希望者に対し随時園見学を実施し、少人数で対応している。 ・ホームページは、「保育理念や保育方針・保育の特色・一日の流れ・年齢毎の持ち物等を明示し、入園後のイメージがより明確に持てるよう工夫している。</p>
31	a	<p>・入園前の個別面談・入園説明会で「重要事項説明書・契約書・個人情報保護方針」を用い丁寧に説明が行われている。 持ち物についてはクラス毎に毎日持参する物と園に置いて置く物をそれぞれ表にまとめわかりやすく表記している。 また子どもの服装について、基本の洋服セットをイラスト表記し、保育に向かない洋服について理由を明確にし安全のため理解を求めている。</p>
32	a	<p>・途中転園の際は、行政規定の手続きに則り行う予定だが、現在までサービスの変更・意向が行われたことはない。 ・当該園は、0才～2才対象の園となるため卒園後全員が転園となる。(連携園4園あり) 今年度初の卒園児を送り出すにあたり、次の保育園が決まり次第、「育ちの記録」を引継ぎ、対応や支援の連続性が図れるようにしていく予定である。</p>
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		
33	a	<p>・意見箱・ICT連絡帳・登降園時の会話から要望を把握するよう努めている。 年度末に保護者見学会の実施を予定している。 ・さらに今年度は、「福祉サービス第三者評価」を活用し、率直な意見や要望の把握に努めている。 ・子どもの満足度は週案・月案などの保育計画の評価の時に複数の職員で子どもの姿を振り返り、把握に努めている。</p>
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	a	<p>・重要事項説明書に苦情相談窓口を明記している。 苦情受付担当者・苦情解決責任者の他、第三者委員2名の氏名・連絡先を明示している。 ・入園説明会で説明し掲示板に苦情解決の仕組み・連絡先を掲示し、周知に努めている。</p>
35	a	<p>・職員は登降園時に保護者一人ひとりへ声をかけ、常に話しかけやすい環境を整えている。 ・園長は保護者の表情や雰囲気にも注視し必要な時には積極的に面談に誘うようにしている。 ・意見箱を設置し、遠慮なく意見を出しやすくするよう努めている。</p>

<p>36 III-1-(4)-③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。</p>	<p>a</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は保護者からの意見・要望があった際はすぐに園長に報告し、毎日9:00の申送り時に第1報を共有する仕組みにしている。 ・場合によっては当日、臨時会議を実施し、詳しい状況などを確認・共有し迅速に対応している。
<p>III-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。</p>		
<p>37 III-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。</p>	<p>a</p>	<p><マニュアル></p> <ul style="list-style-type: none"> ・危機管理マニュアルには危機管理の基本原則は「意識」することと明示している。 またトラブルが起きた時の5原則「冷静に判断する」「何事も隠さず情報公開」「正確に経過を記録する」「素早い対応」「起こったことを分析し今後の対応に役立てる」を掲げ、職員は細かなヒヤリハットをあげ、予防に努めている。 <p><災害発生時></p> <ul style="list-style-type: none"> ・園長不在時の指揮権順位・災害の種類毎・場所毎の対応・震災発生時の3日間に渡る時間別対応表があり、的確・迅速に行動ができる様にしている。 ・事故発生時のフローチャートを園外・園内に分け作成し、いつ・誰が・何をするのが分かりやすくなっている。 ・万が一に備え「園外保育出発時は写真をとりその日の服装が直ぐに説明できるようにする」「近隣交番に定期巡回を依頼する」などできる限りの安全を対策を行っている。 <p><日常></p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園到着時は、他の園の子どもと混ざって見失わないよう職員で遊ぶ場所・範囲を確認・共有している。 1人の先生は子どもに約束を伝え、またもう一人の先生が地面に危険物はないか確認していた。 ・毎朝9:00に登園確認をし、保護者から連絡がない場合は園から家庭へ連絡をする仕組みがある。
<p>38 III-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。</p>	<p>a</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理マニュアルを策定している。 場所毎・対象物毎にいつ・どのような方法で行うかが表にまとめられており、確実に実施できるようにしている。 また、消毒薬の作成はすぐ作れるようにわかりやすく明記されている。 ・感染症発生時は、感染拡大防止・注意喚起のため保護者にICT・園内掲示で知らせている。 ・重要事項には感染症について園の対応と保護者に依頼したい内容を明記し、さらに疾病別に感染しやすい期間・登園の目安を表にまとめ保護者への理解に努めている。 ・保育園に通園できない場合は病児保育の案内を行っている。
<p>39 III-1-(5)-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。</p>	<p>a</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画の元、毎月想定を変え避難訓練を実施している。園外活動時間にも行いどのような場合にも対応できる訓練を行っている。 ・園外避難の際は避難カードに園名を大きく表記した旗を立て、園児が何処にいるか見つけやすくしている。 ・アレルギー児の誤食を起こさないため禁食材を明記した名札を避難バッグに常備している。

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ-2-1 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。			
40	Ⅲ-2-1-① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a	<ul style="list-style-type: none"> 各種マニュアルを策定し、その上で国や行政のマニュアルを整備している。 各マニュアルは目的や留意事項がわかりやすく明記されている。
41	Ⅲ-2-1-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b	<ul style="list-style-type: none"> 新設園のため見直しが行われていないが、園長は年度末に職員と共に見直しをする予定である。
Ⅲ-2-2 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。			
42	Ⅲ-2-2-① アセスメントにもとづく個別的な福祉サービス実施計画(個別支援計画)を適切に策定している。	a	<ul style="list-style-type: none"> 家庭からの状況・ICTに入力された状況・子どもの様子等を元に話し合い、小さな成長をも見落とさないよう努めている。 共有後、担当が個別支援計画を策定している。
43	Ⅲ-2-2-② 定期的に福祉サービス実施計画(個別支援計画)の評価・見直しを行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> 毎日の話し合い・週1回の担任会議・月1回の職員会議・保育記録等を元に見直し、評価を行っている。
Ⅲ-2-3 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。			
44	Ⅲ-2-3-① 利用者に関する福祉サービス実施状況(個別支援計画)の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	<ul style="list-style-type: none"> 職員は職員会議・担任会議・毎日の話し合いで子どもの様子を伝え合い共有している。 計画・記録はICTを利用し、クラウド上に記録・保管されている。 計画は端末でいつでも確認したい時にすぐ確認できるようになっている。
45	Ⅲ-2-3-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報には鍵付きの書庫へ保管が徹底されている。 取扱いはサービス規定に明記し、職員は入社時に誓約をしている。 PCやタブレットの管理はセキュリティソフトの使用・パスワード・ログイン制限をし、使用者によって閲覧制限を行っている。 また規定には園長の許可なく記録物の複写・データ送信をしない事を明記し、情報漏洩を徹底管理を行っている。

A 個別評価基準

A-1 保育内容

		第三者評価結果	コメント
A-1-1 全体的な計画の作成			
46	A-1-1-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。	b	<ul style="list-style-type: none"> 保育所保育指針を踏まえ、理念・運営方針・保育目標を元に全体的な計画を作成している。 今年度は1年目のため園長が策定をしている。 初年度の園の評価をもとに来年度の計画を職員と共に作成することを期待したい。
A-1-2 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開			
47	A-1-2-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地良く過ごすことのできる環境を整備している。	a	<ul style="list-style-type: none"> ワンフロアの保育室は明るく開放的で圧迫感がなく心地良いレイアウトになっている。 保育室は前面道路から子ども達の様子が見えない様にシェードを設置している。 子どもの活動に応じ、パーテーションを活用し、子ども達が集中して遊べるようにしている。 午前中は近隣公園へ出かけ、季節を感じ、体を存分に動かす活動をしている。

48	A-1-(2)-② 一人一人の子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが安心して自分の気持ちを表現できるよう、日常的に職員全員が一人ひとりの子どもの成長を共有し、発達に応じた保育ができる様に努めている。 ・訪問時、職員は子どもの目線や仕草・表情などから「子どもが何が見たいのか」「どうしたいのか」「どう不思議なのか」様子をうかがっていた。 ・また職員は「〇〇したかったんだね」と子どもの思いを受け止め、気持ちに寄り添った言葉かけをし、さっと駆け寄り手を添える姿が見られた。
49	A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身に付けることができる環境の整備、援助を行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は子どもの発達を見極め、無理なく段階的に進めている。 ・職員は子どもの「やってみよう」という意思を尊重し、やりやすい様にしてそっと後ろから見守り、必要な物を準備したりしている。 様子をみて、少しずつ支援する部分を減らし、子どもが自分で取組めるように工夫している。 ・手洗い場やトイレは子どもが自立した生活習慣を身に付けやすいように子どもの体に合わせた設備にしている。
50	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが体を存分に動かせる様できる限り広々とした芝生広場がある公園へ出かけている。 ・訪問時に公園では芝生の中の石を拾って並べる子・草を引き抜き地面と格闘する子・シャボン玉を楽しむように追いかける子・雲の流れを見つけ指さし喜ぶ子など個々に遊ぶ姿が見られた。 どの職員も子どもが見つめる興味に共感し声かけを行い、子どもは次から次へと面白い事を見つけていた。
51	A-1-(2)-⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は保護者から名前呼び方や好きな遊びなどを聞き、家庭と同じように接する事で安心できる環境づくりに努めている。 ・室内は可動式の仕切りで休息と遊びを分け、個々のリズムに合わせた生活が送れるように工夫している。 ・1才児は発達を確認の上、1歳児クラスの活動に参加し、遊びの幅が広がるように工夫している。 この際、職員は子ども同士が互いに負担とならないよう適度な距離を保てるよう配慮している。
52	A-1-(2)-⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・発達の差があるトイレトレーニング・箸の扱い・着替え・靴を履くなどは、家庭と連絡をとりながら丁寧に一人ひとりの成長や興味を見て進めている。 ・2歳児クラスは卒園後を視野に入れ、大きな集団に入り子どもが臆することなくすごせるよう「同年代の活動を増やす」「連携園の異年齢合同保育」など様々な取組を行っている。
53	A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。		小規模保育園のため非該当
54	A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・園長は担当行政や療育センターに出向き相談し、助言を受けている。 助言内容は職員と共有し、育ちを園全体で支えている。
55	A-1-(2)-⑨ それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・延長保育の子どもが降園する友だちをみて寂しくならないよう膝の上で本を読むなど1対1で甘え、スキンシップを多くとり十分にゆったりした雰囲気を作っている。

56	A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。		小規模保育園のため非該当
A-1-(3) 健康管理			
57	A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> • 毎日の子どもの体調管理は保護者からの通知 (ICTによる家庭での状況) と登園時の状況を全職員で共有している。 • 毎日9:00の申送り・食事の状況・午後の情報交換で細かな点を共有し、体調変化に早めに気づけるよう努めている。 • 午睡時のSIDS予防対策は行政の基準に則り0歳児5分・1歳2歳児10分間隔で確認を行っている。
58	A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	<ul style="list-style-type: none"> • 年2回内科健診・年1回歯科健診を実施している。 • 結果はICTでクラウド上に保管管理し、全職員がすぐ共有できるようにし、成長の目安にしている。 保護者へはICTと口頭で報告している。
59	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> • 入園前面談では全ての保護者にアレルギーや慢性疾患について確認し、アレルギー該当児は医師の診断書を元に除去食を提供している。 • 配膳時は <ul style="list-style-type: none"> ①色の違う食器を使用 ②栄養士が保育士に手渡すまでトレーに名札をつける ③栄養士と保育士で声出し確認 ④テーブルを分ける ⑤通常食より先に配膳し、誤食防止に努めている。 • 飲食だけでなく小麦ねんどなど遊びの材料に関しても徹底したアレルギー対策が行われている。
A-1-(4) 食事			
60	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	<ul style="list-style-type: none"> • 園の理念でもある「よく食べ」の通り、園長を中心に食事を大切にし、給食会議では子どもが楽しく食事ができるよう職員が活発にアイデアを出し合っている。 • 直近の節分の行事食はかわいい鬼のキャラクター給食を企画し、子どもに楽しんでもらいたいという気持ちがあふれていた。
61	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a	<ul style="list-style-type: none"> • 衛生管理は行政の衛生基準を遵守している。 • 栄養士は子ども達が何をどのようにしたら「楽しく」「美味しく」「安心して」食事ができるのか常に考えている。 • また、給食会議の意見と子どもの状況を参考に、翌月のメニューや調理方法の計画を作成している。
A-2 子育て支援			
		第三者評価結果	コメント
A-2-(1) 家庭との緊密な連携			
62	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> • ICT連絡帳で保護者は家庭での過ごし方や食事の内容・体調などを毎日伝え、園は活動の様子・エピソード・食事量・排泄回数などを伝えている。 • ICT化で、保護者は降園前にその日の様子を知り、園は登園前に体調などを把握でき、互いに必要な事を優先して確認し合える体制にしている。 また保護者は給食の写真を毎日見ることができ、その日の家庭での参考になっている。

A-2-(2) 保護者等の支援		
63	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a <ul style="list-style-type: none"> ・登降園時のコミュニケーションを心がけ、相談しやすい・話しやすい雰囲気にも努めている。 ・職員は保護者から相談があった際は園長に報告し、当日の昼に全職員が共有する仕組みにしている。 ・相談によっては園長が別室で行い、周りに遠慮なく相談が行えるように配慮している。
64	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a <ul style="list-style-type: none"> ・日頃から職員に相談しやすい関係作りに努めている。 ・職員は登園時に視診を行い、傷やアザを発見した場合、園長に報告し、関係各所と相談の上、慎重に対応することとしている。

A-3 保育の質の向上

		第三者評価結果	コメント
A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)			
65	A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、意見や情報の交換を行う他、週1回の担任会議・月1回の職員会議での意見を参考に各計画や評価の振り返りを行い、保育内容の改善・専門性の向上に努めている。 ・また自己評価を行い客観的に振り返る機会にしている。 ・さらに今年度は福祉サービス第三者評価を行い、保育を振り返っている。